



お友達になってください!



公式LINE

厳しい選挙を乗り越えて、 再び国政の最前線へ

先の衆議院選挙では、国民の厳しい審判が下り、与党は歴史的な大敗を喫し過半数を割り込むこととなりました。私自身も、東京30区での初めての戦いに敗れ小選挙区の議席をお預かりすることができませんでした。

そのような中であっても、選挙戦を支えてくださったスタッフやボランティアの皆さん、私に一票を投じてくださった91,798人の有権者の皆さまに深く感謝申し上げます。

元経済安全保障大臣
小林 鷹之



けんど ちょうらい

小選挙区で捲土重来を期す

「負けに不思議な負けなし」という言葉があるように、私自身の日常活動や選挙戦の進め方などに反省すべき点が多々あったことを認識しております。

長島昭久プロフィール

自由民主党・衆議院議員(8期目)。東京30区(府中市・多摩市・稲城市)選挙区支部長。現在は、内閣総理大臣補佐官(国家安全保障担当)を務める。これまでに、防衛大臣政務官、首相補佐官、防衛副大臣を歴任。日本スケート連盟会長、日本スポーツ協会参与、東京都銃剣道連盟会長、東京都ゴルフ連盟相談役、東京都軟式野球連盟会長。昭和37(1962)年2月17日生まれ。寅年。慶應義塾大学大学院修了。米国ジョンス・ホプキンス大学で修士号取得。趣味は大相撲・スケート観戦、読書、水彩画。妻と娘2人。

今回の結果を糧に、次期衆院選においては文字通りリベンジを果たすべく、地域活動に一層邁進する所存です。

自民党への信頼回復が第一

その大前提は、何といたっても、政治、なかんづく就中自由民主党に対する国民の信頼を回復することです。特別国会の最中に石破総理が野党各党と合意したように(また、私自身が選挙中に皆さまに公約したように)、①政策活動費の廃止、②旧文通費の全面公開・余剰金返還、③第三者機関の設置は、今年中に決着をつけてまいります。

総理補佐官として 日本の国益を守り抜く

その上で、私は、国家安全保障担当の総理大臣補佐官に再任されましたので、石破政権における外交・安全保障政策の立案と遂行に全力を傾けてまいります。

最初の課題は、アメリカ大統領選挙によって誕生したトランプ次期政権の外交・

(裏面につづく)